

令和3年度 関東高等学校ゴルフ選手権 冬季大会 埼玉県予選

開催日:令和3年11月15日(月)

開催コース:大宮ゴルフコース

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「**一般の罰(2 罰打)**」となる。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 18.2)

アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。

2. ペナルティーエリア(規則 17)

7番ホールグリーン奥・17番ホールカート道路右サイド のレッドペナルティーエリアの中に球がある場合(見つからない球がそのペナルティーエリアに止まったことが分かっている、または事実上確実である場合を含む)、プレーヤーには次の選択肢があり、それぞれ 1 罰打で:

- ・規則 17.1 に基づき救済を受ける。または、
- ・追加の選択肢として、元の球か別の球をドロップゾーン(DZ)にドロップする。この DZ は規則 14.3 に基づく救済エリアである。

3. 異常なコース状態(動かさない障害物を含む)(規則 16)

(a)修理地

青杭を立て、白線で囲まれた区域。

(b)動かさない障害物

(1)排水溝

(2)小砂利、ウッドチップ、松葉などを使用して舗装した区域。

(小砂利やウッドチップなどの個体はルースインペディメントである。)

(3)人工の表面を持つ道路に接している枕木や丸太は、その道路の一部とみなす。

(4)動かさない障害物と白線でつながれている区域は、その動かさない障害物の一部として扱われる。

- ・ 4番・5番ホールの間にある保護フェンス付近に球があったり、スタンスや意図するスイングの区域の妨げになる場合、プレーヤーは規則 16.1 に基づき罰なしの救済を受けることができる。

4. 不可分な物

以下の物は不可分な物であり、無罰の救済は認められない。

(a)樹木やその他の恒久的な物件に巻きついたり、密着させてあるもの。

(b)ペナルティーエリア内にある人工の壁や杭でできた構造物。

5. クラブと球の規格

(a)ストロークを行うために使うドライバーは R&A が発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド(モデルとロフトで識別される)を持つものでなければならない。

(b)ストロークを行うときに使用する球は R&A が発行する最新の適合球リストに掲載されていなければならない。

このローカルルールの違反に対する罰:失格

6. ゴルフシューズ

ラウンド中、プレーヤーは下記の特徴を持つシューズを履いてはならない。

伝統的なスパイクすなわち、地面を深く貫くようにデザインされた 1 つあるいは複数の鋳を有するスパイク

(メタル製、セラミック製、プラスチック製、その他の材質かは問わない)。

このローカルルールの違反に対する罰:規則 4.3 参照

7. プレーの中断と再開(規則 5.7)

(a)即時中断(落雷・Jアラート等、切迫した危険がある場合)

委員会がプレーの即時中断を宣言した場合、すべてのプレーヤーは直ちにプレーを止めなければならない、委員会がプレーを再開するまでは別のストロークを行ってはならない。

このローカルルールの違反に対する罰:失格

即時中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、失格とすることがある。

(b) 通常の中断(日没やコースがプレー不能)

規則 5.7b,c,d に従って処置すること。

(c) プレーの中断と再開の合図

即時中断 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報するとともに競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

通常の中断 : 競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

プレーの再開: 連続の 3 回サイレンを繰り返して通報するとともに競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

8. 練習(規則 5.2)

(a) ホールとホールの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

終了したばかりのグリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、終了したばかりのグリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってグリーン面をテストする。

(b) プレーヤーはラウンドとラウンドの間にコース上で練習してはならない。ただし、ハーフ終了後の待ち時間における指定練習グリーンでのパッティング練習を除く。このローカルルールの違反に対する罰

最初の違反の罰 : 一般の罰(プレーヤーの最初のホールに適用される)

2 回目の違反の罰 : 失格

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは「競技規定」で定められる参加資格を満たしていなければならない。

2. スコアカードの提出

スコアリングエリア方式を採用する(プレーヤーの両足がエリアから出た時点をもって提出されたものとみなす)。

3. タイの決定

正規のラウンドが終了し、1位がタイの場合には、正規ラウンドのマッチング・スコアカード方式によって順位を決定する。以下の順位においても同様の方式によって決定する。

4. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

競技委員長 堀江 靖見

距離表 大宮ゴルフコース (男子) Aグリーン 使用ティーマーカー: タツノオトシゴ(青)

HOLE NO	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT	
YARDS	435	395	165	605	380	410	400	140	525	3455	
PAR	4	4	3	5	4	4	4	3	5	36	
HOLE NO	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
YARDS	330	370	390	445	610	375	220	185	520	3445	6900
PAR	4	4	4	4	5	4	3	3	5	36	72

距離表 大宮ゴルフコース (女子) Aグリーン 使用ティーマーカー: タツノオトシゴ(赤)

HOLE NO	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT	
YARDS	420	375	150	605	365	390	385	125	500	3315	
PAR	4	4	3	5	4	4	4	3	5	36	
HOLE NO	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
YARDS	310	350	370	425	590	355	200	155	490	3245	6560
PAR	4	4	4	4	5	4	3	3	5	36	72

注意事項

1. 今大会は距離計の使用は許可しています。(2点間の距離のみ OK。高低差は不可。)
2. 今大会は手引きカートの使用は許可していません。(担ぎのみ)
3. ローカルルール 6項において規制されるシューズ以外でもグリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
4. プレーヤーにエチケット違反、または非行があった場合には「行動規範」に基づいて制裁を受けることがある。また、重大な非行があった場合には規則 1.2a および 20.2 に基づいて失格とする場合がある。
5. アプローチ・バンカー練習場は、使用禁止とする。
6. グリーン上で旗竿を挿したままプレーする際は、プレー中であることが後続組の視界に入るよう工夫し、事故を防ぐようにつとめること。
7. 携帯電話・スマートフォン等のプレー中の使用を禁止する。ただし、本部への緊急の連絡 (怪我等で緊急に連絡する必要があるなど) の場合は許可する。
(競技委員・運営委員等は緊急時使用することがある。)
8. 選手は、自分のスタート時間の 10 分前にはティーイングエリア付近にて、スタートの注意があり、スコアカードを渡されるので、遅れないこと。
その際、ルールブック(JGA2019年度版)・本競技規則・目土袋・スコップ・グリーンフォークを持参し、競技開始から終了まで必ず携帯すること。
※ルールブック・目土袋等を持参しない場合、規則1.2b を適用し、失格とする場合がある。
9. ルールブック・目土袋及びスコップは、学校名と氏名を明記し、競技開始から終了まで必ず携行していること。また、ティーイングエリアには必ず目土袋を持って上がるよう心がけること。
10. スコアカードには同伴競技者全員のスコアを記入すること。
(毎ホール、数字で確認の上、記入すること。)
11. 大会使用球の全てに、必ず氏名と通し番号を油性マジック等で記入すること。
12. プレーの進行をスムーズに行うため、前の組と間があいたら、間を詰めるため、駆け足でのラウンドを心がけること。
また、前のプレーヤーが打ち終えてから 40 秒以内に打つよう心がけること。(オナーは 50 秒)
13. 服装はユニフォーム規定を厳守し、高校生として、ゴルファーとして好ましく言動を厳に慎むこと。
14. (out) 2・4・7・9番 (in) 11番は右側に民家があるので注意。特に11番のティーショットは、前の組のプレーヤーが次のホールの門まで到達したのを確認した後プレーを行うこと。
※民家に打ち込んだ場合は、近くの競技委員かハーフ終了後、またはラウンド終了後、競技委員に申し出ること。
15. ショートホールでは、全員の球がグリーンに乗った後、後続組がティーイングエリアにいる場合、競技委員の指示に従って球をマークしてから後続組に打たせることがある。
16. 特別な理由もなく、ミドルホール分以上の距離が前の組とあいてしまった場合、警告を与える。また、その後も前の組との距離が十分に改善されない場合、2罰打を課す。
17. ローカルルールに追加、または変更のある場合は、クラブハウス内及び、スターティングホールに掲示して告示する。

●ハーフチェック

前半 9 ホール終了時点でハーフチェックがあります。マーカーが選手の 9 ホールトータルスコアを言えるように、毎ホール、数字でしっかりスコアをつけておくこと。

●アテスト

競技終了後、アテストがあります。まずはスコアカードのマイスコアを切り離し、提出するカードで読めないような字があったらきれいに書き直し、3 ホールずつ読み合わせをして確認する。(例：アウト 354 465 535 の 40、イン 445 653 454 の 40 トータル 80 で間違いはないですか?)
確認したらスコアカードにマーカーのサインをして競技者に渡し、選手は自分でも再度スコアの確認をし、間違いなければ競技者のサインをして提出すること。